

さいごばんさん 最後の晩餐

コリント人への第一の手紙 11:23-26より

イエス様は、ユダに裏切られようとしていた夜、親しい友人でもあった弟子たちと、最後の食事をしたいと思われました。

イエス様はパンを手にとると、それを与えてくださった父に感謝し、それからパンを割いて、弟子たちに回しました。

その少し前に、イエス様は、弟子たちにこう教えておられました。「わたしの父は、天からのまことのパンをあなたがたに与えてくださる。神のパンは、天から下ってきて、この世に命を与えるものである。わたしが、その命のパンである。」(ヨハネによる福音書 6:32-35を分かりやすくしたもの)



さあ、食べなさい。
このパンは、あなたがたのために
割かれるわたしの体を
表すものだ。



パンは、健康で元気でいるために体が必要とする
食べ物を表しています。イエス様(イエス様の人生、死、
そして教え)は、わたしたちの霊、つまり思いや心を養う
神様からのパンなのです。

イエス様がパンを割かれた時、それは、彼が
わたしたちのために苦しまれることを表していました。

つぎに、イエス様は ワインの 入った さかずきを 取り、一口 飲みました。

この ワインは、
あなたがたを 罪から
救うために 流される わたしの
血を 表すものだ。

このように、ほかの 人たちと いっしょに パンを 食べ、ワイン
(または、代わりに ジュースでも) を 飲みながら、イエス様が
十字架の 上で 死なれたことで 表してくださった、わたしたちへの
愛と ぎせいを 思い出すのです。この 儀式は、最後の 晩餐、聖餐式、
あるいは 正餐式などと呼ばれています。

それは、イエス様が わたしたちのために はらって
くださった あらゆる ぎせいを 思い出して 光栄に 感じる、
美しい ひとときなのです。



文：エバン・カレン 絵：エスター・マーティン
デザイン：ステファン・ミーラー

出版：マイ・ワンダー・スタジオ Copyright © 2016年、ファミリーインターナショナル
"The Lord's Supper"--Japanese

関連の読み物はこちら ⇒ コミュニオン、イースター、イエス様、救い